



2012～2013 年度
国際ロータリー会長
田 中 作 次

Weekly Report Niigata



2012～2013 年度
新潟ロータリー会長
下 岡 正 八



奉仕を通じて 平和を

2012～13 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 6月第3例会 (2013.6.18) No.2997

(1) ロータリーソング「我等の生業」斉唱

(2) 下岡 正八会長挨拶

退任挨拶Ⅱ 灰になった会長

私が新潟ロータリークラブに入会してから、メンバーの半数が一年から数年で、社命による転勤で、我々の思いや期待にかかわらず新潟を去りました。儀礼として「飛ぶ鳥跡を濁さず」の気持ちで、新潟は米や酒は旨い姐ちゃん綺麗だファッファーといった「紋切型」の挨拶で、ロータリーを後にしています。

これは、伝統になりません。伝統とは、時代に合う近代化だからです。

実は私は「四つのテスト」を退職前、大学の教授会で実行していました。結局何も喋れなくなりました。退職時、理事長・学長が私の記念誌に、次のように書いていました。「近年下岡君は、達観した仙人の趣をもつが、実際彼から小児歯科を取ったら脱け殻しか残らないだろう。だから彼は幸せな人である。」私は燃え尽き症候群になったのです。

燃えつきて灰になったところで、会長就任です。この灰で、会長エレクト山本正治さん、新潟ロータリーに是非花を咲かせて下さい。

私が再び復活するときは、ゾンビとして復活します。

(3) ビジターの紹介

古杉 和弘君(2680地区 篠山 RC)

箕輪光泰君(新潟中央RC) 新保清久君(新潟万代RC)

(4) 箕輪 AG ご挨拶

(5) 新保次年度 AG ご挨拶

(6) 第四銀行本店営業部長 木口 聖也君退任挨拶

(7) 青少年育成基金贈呈

- ・新潟明訓高校元野球部監督 佐藤 和也氏
- ・なぎくんを救う会共同代表 下條寛明氏



(8) 渡辺洋一親睦委員よりゴルフコンペ納会の報告

結果は下記の通りです。チャリティーの報告は納会時に致します。

		グロス	ハンデ	ネット
優勝	小田 等	104	32	72
準優勝	高橋 康隆	90	16	74
3 位	田村貫次郎	102	27.2	74.8
4 位	山田 眞	93	17.6	75.4
5 位	小飯田 澄雄	100	24	76

(9) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(発表は6月25日例会で)

徳永 昭輝君 竹石 松次君

(10) ニコニコボックス紹介 (照内太郎委員)

- ・樋熊 紀雄君 お忙しい中、本日卓話をお願いしました塚田裕子先生に感謝を込めて！！
- ・本間 彊君 新潟明訓高校野球部前監督、佐藤さんをお迎えでき嬉しいです。新天地でのご活躍をお祈りいたします。
- ・小田 等君 16日のチャリティーゴルフコンペで思いがけず、優勝しましたのでニコニコします。当日は、OB,3パット、池ポチャ、林、バンカーへの打ち込みが多発し、チャリティー出来る歓びをかみしめながらのプレーでしたが、結果、9つの隠しホールがピッタリはまり、ハンディが32ついて、グロス104、ネット72で優勝してしまいました。実力者の皆様には、たいへん申し訳ないと思っておりますが、「運も実力のうち」と言って祝って頂いた皆様、本当にありがとうございました。

(11) 卓話「がんの在宅療養を支える」

在宅ケアクリニック川岸町院長 塚田裕子医師



(12) 本日の出席率 80.00 %

(2週間前メーク後 86.05 %)

6月25日の例会予定

納会夜例会 18:30～ イタリア軒

新潟ロータリークラブ会員専用ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

会員専用ページログイン情報

ユーザーID niigata

パスワード rcrerc

コラム

日本銀行

新潟支店長 照内 太郎

「電子マネーの普及、硬貨の減少」

JR 東日本の Suica や JR 西日本の ICOCA などの交通系 IC カードが3月より全国で相互利用できるようになったと、大きく報道されていました。県内でも、新潟交通路線バスや佐渡汽船で新たに利用可能となったとのこと。これらのカードは、電車やバスの切符代わりだけでなく、nanaco や WAON といった流通系 IC カードなどと共に行わゆる電子マネーとしても使われています。私もコンビニでの買い物に大変重宝しています。クラブの皆さんは如何でしょうか？

日本銀行の調査によると、国内の電子マネーの発行枚数は2012年6月末で約1億8千万枚に上り、現在も年15%の割合で増え続けています。単純に割り算すると国民全員が1枚以上持っていることとなります。また、電子マネーでの支払いが可能レジ等端末の台数も、かなり増えてきているようです。

一方で、電車への乗車時等を除く、つまり買い物での電子マネーでの支払い1件当たりの平均金額は、800～900円台とこの数年あまり変わっていません。日本人はやはり堅実です。いずれにせよ、千円未満の少額の買い物手段として、電子マネーがかなり普及してきていると言えます。

そうだとすると、少額の買い物をする際の本来の主役である硬貨(貨幣)はどうかと気になります。実際、流通している硬貨の残高は、五百円硬貨を除きこのところ減少しています。例えば、十円硬貨は2004年末のピーク時208億枚から2012年末は196億枚に、一円硬貨は2002年末のピーク時410億枚から2012年末は389億枚にと、それぞれ減少しています。つまり、日本銀行の窓口を通じて出ていく枚数より、戻ってくる枚数の方が多いということです。これまた皆さん手持ちの硬貨では如何でしょうか。

残念ながら新潟における統計がなく深い分析ができないことご容赦下さい。ただ、生活の身近なところの変化を数字で見えてみることは、結構興味深いと思いませんか。

以上